

今年の夏は猛暑を超え天候異変を感じるほどの暑さですが、皆様のところではいかがでしょうか。都会では突然の雷鳴と集中豪雨でヒートアイランド現象が危惧されていますが、単なる気温上昇のみでなく自然界を支えている動植物の生態系への影響も心配です。合理的で快適性と利便性を追求しすぎるライフスタイル、生活の価値観を見直すときではないでしょうか。しかしながら本誌が届く頃の初秋になると国民の多くは異常気象についての懸念を忘れ、対策が後手にならないよう願っています。

さて、今月号の特集は「新しい下肢装具」です。義肢装具の開発の現状をみると、義肢領域ではシリコンソケットやインテリジェント膝継手など材質、部品の進歩は目覚ましいものがありますが、装具領域では、ハード面よりもむしろ刻々と変化する病状に対して最適な装具を用いた理学療法をいかに実施するかという治療用装具としての位置づけに重点がおかれています。それだけに装具の処方時期や調整機能を有しているかがポイントとなるため、本号ではこのような観点を踏まえて第一線の臨床現場でご活躍されている方に執筆をお願いしました。

異氏は、片麻痺急性期の装具処方と適応基準を提示し、理学療法の進行に合わせた AFO の移行時期と歩行指導の要点、そして早期長下肢療法の効果を分析しており参考となります。溝部氏には、足・膝関節の滑らかな動きを確保する油圧機構を用いた AFO 開発の過程とその作用メカニズムを歩行分析から説明し、歩行練習のあり方まで触れていただきました。福本氏は失調症に対する軟性股関節装具を用いた運動療法と、その効果を歩容と重心動揺から検討され、また中江氏は膝・足関節のスポーツ傷害のそれぞれに適した最新装具の選択のポイントとスポーツ復帰に向けた指導方法を具体的に解説されています。佐古氏にはボリオ後症候群の下肢装具の実態と理学療法の進め方について解説していただきました。装具の満足度が低かったことは反省すべきで、長期間にわたるきめ細かなフォローアップ体制と装具調整の大切さを再認識しました。

田口順子先生から寄せられた「特別寄稿」は、氏の長年の国際活動を基にした 21 世紀の理学療法界の教育、臨床、研究活動の国際化の方向性について言及されており、示唆に富む内容となっていますが、同時に理学療法士制度の発足以降における国際化の足跡を正確に記されており、貴重な資料ともなります。その行間からは国際化に向けた熱い情熱とひたむきな取り組みがひしひしと伝わってきます。この寄稿を読まれ、来年のバルセロナ国際学会に向けての抄録作りに、また海外で理学療法にかかわりたい方が増えることでしょう。

嶋田氏による「とびら」の、診療報酬改定による算術よりも、「明日の理学療法を」、という想いに同感です。「入門講座」の患者と理学療法士との会話分析に、そのヒントの一つが秘められているように感じます。

(鶴見隆正)

●編集顧問●

上 田 敏
五 味 重 春
津 山 直 一
福 屋 靖 子
横 山 巖

(五十音順、以下同じ)

●編集委員●

網 本 和
安 山 徳 彦
内 山 靖
大 川 弥 生
高 橋 正 明
鶴 見 隆 正
奈 良 敷 春
吉 尾 雅 春

●編集同人●

伊 藤 俊 一
伊 橋 光 二
今 川 忠 男
上 田 陽 之
大 峯 三 郎
岡 西 哲 夫
岡 本 慎 哉
菊 地 延 子
木 山 喬 博
工 藤 俊 輔
佐々木 伸 一
佐 藤 剛 一
佐 藤 秀 一
高 口 光 子
高 田 京 子
寺 山 久美子
富 樫 誠 二
富 田 昌 夫
長 尾 哲 男
長 澤 弘 弘
永 富 史 子
中 村 春 基
橋 元 隆
濱 出 茂 治
備 酒 伸 彦
福 田 恵美子
星 文 彦
前 田 哲 男
牧 田 光 代
丸 田 和 夫
丸 山 仁 司
宮 本 省 三
諸 橋 勇
八 木 範 彦

理学療法ジャーナル

(第 36 巻 第 9 号)

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

2002 年 9 月 15 日発行(毎月 1 回 15 日発行)

〒113-8719 東京都文京区本郷 5-24-3

電話 本誌編集室直通(03)3817-5703

(担当：平岡・山崎)

定価(本体 1,650 円+税)

(配送料 92 円)

販売部直通(03)3817-5659・5660

{ 2002 年年ぎめ予約購読料 20,280 円 }
(送料弊社負担)

広告室直通(03)3817-5696

ファクシミリ(03)3815-7802

E-mail : ptj@igaku-shoin. co. jp

振替口座 00170-9-96693 番

Web http : //www. igaku-shoin. co. jp

印刷所 三 報 社 印 刷(株) ☎(03)3637-0005

広告申込所 (株)医薬広告社 ☎(03)3814-1971

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2002, Printed in Japan

・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有しています。

・ JCLIS <(株)日本著作出版権管理システム委託出版物>

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前
に(株)日本著作出版権管理システム(電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の許諾を得てください。